

福祉サービス第三者評価基準

【 共 通 版 】

(様式2)

H28年4月1日改定

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		自己評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	(a)・b・c
<p>評価概要 「入園のしおり」に理念・基本方針について明記し、保護者に対しては入所前の面談や一時保育の利用案内の際に説明をしている。職員については、入職時に配布される行動手帳に、理念や基本方針が示してある為、日々の業務に当たる際の行動規範になっている。</p>		

I-2 経営状況の把握

		自己評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	(a)・b・c
<p>評価概要 国、鹿児島県 鹿児島市の事業に関する通知などを積極的に活用し、また各種団体などの情報を的確に把握、評価し現在の利用者のニーズにこたえるように日々研鑽を図っている。毎月担当税理士事務所と会計などの把握と確認を行っている。</p>		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	(a)・b・c
<p>評価概要 当社の基盤である理念とそれを具体的に行うための行動指針をもとにすべての職種において、また事業を超えて理念の把握を行っている。毎月の全体職員会議において共有化を行う仕組みを作っている</p>		

I-3 事業計画の策定

		自己評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	(a)・b・c
<p>評価概要 当社の理念に沿った事業計画の作成を行っている。また、1年ごとに見直しを行っている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	(a)・b・c
<p>評価概要 毎年度予算として具体的な数値設定を行い、全職員に周知している</p>		

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c
評価概要 事業計画については、全職員に周知するようにしている。また、未確定な事業については、理事会にて事前に協議を行い、議事録を公開することとしている。		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・Ⓑ・c
評価概要 事業計画は、保護者がいつでも見れるように掲示行っている。経営計画については、保育行政が認可制のため、認可の確定がえられてからの公示となっている。わかりやすい資料作成については今後検討する。		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		自己評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
評価概要 毎月の月案において職員各自で自己評価を行い、他の職員へ周知をしている。また、毎月の目標を明確に立てることにより職員のベクトルを合わせて保育を行うように心がけている。毎月のミーティングでは各自の目標に対する実践・気づき(反省)について公表することによって職員間での学びにもつながっている。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
評価概要 各ミーティングの中で運営についてや行事や日々の保育において改善が必要な点や課題についての話し合いを定期的に行い、職員間で改善策の検討や改善に向けての取り組みを行っている。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		自己評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 管理規定などにより、明確に規定している。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
評価概要 必要な研修会へ出席することにより研鑽を深め、園内のミーティングを通して職員への周知を図っている。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
評価概要 必要な研修会へ出席し研鑽を深めることはもとより、職員とのコミュニケーションをとることによって、保育の質の向上のための情報収集や研修の充実を図っている。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	Ⓐ・b・c
評価概要 公認会計士や社会保険労務士等の協力を得ながら、業務をより効率的に行うようにしている。また、園児数や職員のライフバランスに合わせて環境整備に努めている。		

Ⅱ－２ 福祉人材の確保・育成

		自己評価結果
Ⅱ－２－（１） 福祉人材の確保・育成計画，人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ－２－（１）－① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し，取組が実施されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>定員増員のための人材確保のために採用活動を行うとともに、運営に於いて必要な人材の確保に努めている。</p>		
15	Ⅱ－２－（１）－② 総合的な人事管理が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>当社の理念を含めて、方針などは行動手帳に明確に記載している。また、年1回の職員面談と臨時面談にて職員の意向や評価を組み上げるようにしている。人事基準は、各種規定にて明確に定めている。</p>		
Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ－２－（２）－① 職員の就業状況や意向を把握し，働きやすい職場づくりに取組んでいる。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>職員の労働状況について管理し、有休取得状況や時間外労働についてもしっかりと見直しをし職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。</p>		
Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ－２－（３）－① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>年1回の個人面談を行い行動手帳に基づく、職員の短期目標や長期目標についての聞き取りを行ったり、毎月のクラスの目標に対する実践や気づきを確認して、職員一人ひとりの達成度の確認などを行っている。</p>		
18	Ⅱ－２－（３）－② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され，教育・研修が実施されている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要</p> <p>当社の行動手帳において、期待する職員像を明らかにしている。また、年間計画を通じて教育研修を行っている。個人ごとの研修目標を現在規定していないため、今後個人別目標を作成していきたい</p>		
19	Ⅱ－２－（３）－③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>主任・副主任を中心に各職員に必要なかつ適切な研修が受けられるように、外部研修については年間計画を作成し、必要な研修に参加できるように配慮している。また、研修で学んだ内容については、全体ミーティングで報告してもらうとともに、研修報告書を回覧することで理解を深めるようにしている。</p>		
Ⅱ－２－（４） 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ－２－（４）－① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し，積極的な取組をしている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>マニュアルの作成を行い、受け入れを行っている。また、保護者に対しては掲示板でのお知らせを行ったり、実習生との事前のオリエンテーションを利用して指導担当者を実習の進め方に関する打ち合わせができるように配慮している。</p>		

Ⅱ－３ 運営の透明性の確保

		自己評価結果
Ⅱ－３－（１） 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ－３－（１）－① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・ ① ・c
<p>評価概要</p> <p>日本財団のHPを利用して、法人・保育所の現況報告を行っている。また、第三者評価の受審結果や日々の保育の内容については保護者の方が手に取れる場所に設置し、閲覧ができる状態にしている。しかし、地域に向けての情報発信については不十分である。</p>		
22	Ⅱ－３－（１）－② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	② ・b・c
<p>評価概要</p> <p>労務・経理については公認会計士や社会保険労務士の助言を得ながら業務を遂行している。また、毎年職員に向けての決算報告を行っている。</p>		

Ⅱ－４ 地域との交流，地域貢献

		自己評価結果
Ⅱ－４－（１） 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ－４－（１）－① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	① ・b・c
<p>評価概要</p> <p>町内会に入り、町内会の行事などにも参加するよう心掛けている。また、園外散歩を通して地域の方への挨拶や声掛けなどのコミュニケーションを図っている。地域の高齢者施設への訪問なども連絡を取り合いながら行っている。</p>		
24	Ⅱ－４－（１）－② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・ ② ・c
<p>評価概要</p> <p>ボランティアの受入のマニュアルを作成し、受け入れ態勢を整備している。職場体験などの機会をも蹴ることができていないが、教育機関と連携をし、積極的にボランティアを受け入れるように取り組みをしていきたいと計画をしている。</p>		
Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ－４－（２）－① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・ ① ・c
<p>評価概要</p> <p>必要に応じて、保健所・児童相談所・かかりつけ医等と連携が取れるように体制を整えている。連絡会等をとおして協同的に連携を取るには至っていないが、今後体制づくりを行い、密な連携が取れるように取り組む予定である。</p>		
Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ－４－（３）－① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・ ① ・c
<p>評価概要</p> <p>地域の子育てサロンで研修会をするように計画をしている。また、災害時に避難場所として活用できるように準備をしているが、地域への発信と言う点においては不十分なところである。</p>		
27	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・ ② ・c
<p>評価概要</p> <p>一時保育の受入を積極的に行うことにより地域の福祉ニーズに対応しているが、地域の福祉ニーズに対してより保育所としての機能が十分に発揮できるような取り組みを行っていきたい。</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

		自己評価結果
Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ－１－（１）－① 子どもを尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>行動手帳を通して、子どもの尊重や人権保護については配慮する行動をとるよう心掛けている。</p>		
29	Ⅲ－１－（１）－② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>規程の整備を行い、規定に基づいた保育を実践するようにしている。</p>		
Ⅲ－１－（２） 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ－１－（２）－① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>当園の基本情報や基本方針については、鹿児島市保育園協会やりぼん館などに情報開示を行っている。また入園前の資料については、毎年改訂をしよりよいものを提供できるように心掛けている。利用希望者や見学者については、十分な時間を取り可能であれば子ども達と触れ合うことができるように配慮している。</p>		
31	Ⅲ－１－（２）－② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要</p> <p>クラス替えがある際には、事前に個別に保護者へ説明するように配慮している。また、担当の保育士等の変更についても職員から直接事前に挨拶等をするようにしている。入所前の説明については、個別面談の際に資料を使用して説明を行っている。基本的に面談を実施する担当者を決めて、担当者から説明をするような体制を作っている。</p>		
32	Ⅲ－１－（２）－③ 保育所等の変更や家庭への移行等にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要</p> <p>転園・卒園については、鹿児島市の指定する保育所保育要録を事前に送付するようにしている。相談方法等についての文書の配布はしていない。</p>		
Ⅲ－１－（３） 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ－１－（３）－① 子ども満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎年2月に保護者向けにアンケートを実施しその結果をまとめ、公表している。また、必要に応じて個人面談を行い、保護者の方と直接話をする機会を設けている。</p>		

Ⅲ－１－（４） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ－１－（４）－① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 苦情解決の体制を整えており、意見箱の設置やアンケート等による受付を行っている。</p>		
35	Ⅲ－１－（４）－② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・Ⓑ・c
<p>評価概要 送迎の際に保護者翔コミュニケーションを取るようになっている。また、連絡帳や運営アンケートでも意見をいただけるように配慮している。しかし、わかりやすく説明した文書等の作成については不十分である。</p>		
36	Ⅲ－１－（４）－③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 対応マニュアルを作成し、適切に対応するように心がけている。</p>		
Ⅲ－１－（５） 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ－１－（５）－① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 ヒヤリハット報告・事故報告の整備を行い、事故があった際には職員間で共有できるようにしている。また、事故が発生した場合には、事故の要因や再発防止策を必ず検討するようにしている。</p>		
38	Ⅲ－１－（５）－② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 感染症についてのマニュアルの作成をしている。また、感染症が発生した場合には、保護者や職員に周知をし感染拡大防止に努めている。また、感染症についての一覧表を作成し、感染症別での対応について確認がすぐにできるようにしている。</p>		
39	Ⅲ－１－（５）－③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要 職員参画でマニュアルを作成し、災害時の対応について共通理解を持っている。</p>		

Ⅲ－２ 福祉サービスの質の確保

		自己評価結果
Ⅲ－２－（１） 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ－２－（１）－① 提供する保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ ② ・c
<p>評価概要</p> <p>標準的な実施方法は各クラスに行動マニュアルとして掲示してあるが、十分な物ではない</p>		
41	Ⅲ－２－（１）－② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・ ② ・c
<p>評価概要</p> <p>日々の保育についての見直しや業務についての見直しは、毎月のミーティングで共有している。また、日々改善が必要な点については、職員間で話し合いをするようにしている。</p>		
Ⅲ－２－（２） 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ－２－（２）－① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	① ・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎月の指導計画については、発達段階のチェックリストを活用しながら、個々の発達状況をみて作成している。また、必要な際には、関係機関との連絡を取りながら進めていくようにしている。</p>		
43	Ⅲ－２－（２）－② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	① ・b・c
<p>評価概要</p> <p>月案については、担当職員だけではなく他の職員の意見も参考にしながら作成をし、それぞれの発達段階がわかるように適切に見直しを行っている。</p>		
Ⅲ－２－（３） 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ－２－（３）－① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	① ・b・c
<p>評価概要</p> <p>全ての園児に対して同じ記録用紙を使い、細かに分かれた区分によって評価基準についても示している。毎月のミーティングで情報の共有を行っている。</p>		
45	Ⅲ－２－（３）－② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	① ・b・c
<p>評価概要</p> <p>園児の名前が書かれている書類等については、事務室にあるシュレッダーで処理するようにし、個人情報の記載がある書類については、決められた場所での保管を行っている。</p>		

福祉サービス第三者評価基準

(様式2)

【 保育所版 】

[H28改訂版]

第三者評価内容評価基準 (保育所版)

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		自己評価結果
A① A-1-(1)-①	保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	Ⓐ・b・c
評価概要 各年度の反省点を踏まえながら保育課程を作成し、当園の特徴である、異年齢保育・兄弟児保育・年齢別グループ活動、郷中教育などを取り入れた保育課程になるように作成している。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		自己評価結果
A② A-1-(2)-①	生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	Ⓐ・b・c
A③ A-1-(2)-②	一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	Ⓐ・b・c
A④ A-1-(2)-③	子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑤ A-1-(2)-④	子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	Ⓐ・b・c
A⑥ A-1-(2)-⑤	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑦ A-1-(2)-⑥	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑧ A-1-(2)-⑦	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑨ A-1-(2)-⑧	障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑩ A-1-(2)-⑨	長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	Ⓐ・b・c
A⑪ A-1-(2)-⑩	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	Ⓐ・b・c
評価概要 本年度よりクラス編成が変更になった為、異年齢での関わり方やグループ活動の実施方法についても変更があったが、子ども達が遊びの中から多くのことを学べるように配慮している。戸外で活動する時間や園外に出る時間についても、十分に確保し、また異年齢での関わりもより効果的に子ども同士の関わりが行えるようにしている。教育と養護が一体となって行えるように配慮しながら保育を実践している。		

A-1-(3) 健康管理		自己評価結果
A⑫ A-1-(3)-①	子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c
A⑬ A-1-(3)-②	健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c
A⑭ A-1-(3)-③	アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>感染症の発生状況については、職員間での情報共有ができるように努めている。またアレルギー疾患については、栄養士との連携の下、保護者への定期受診のお願いをしている。歯科健診・内科健診については、結果を職員に伝達することによって、保護者への働き掛けも行っている。午睡中の安否確認については、未満児だけではなく以上児についても実施している。</p>		
A-1-(4) 食事		自己評価結果
A⑮ A-1-(4)-①	食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c
A⑯ A-1-(4)-②	子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎月1回の給食ミーティングで調理スタッフ、栄養士、主任、副主任が出席し、クラスでの給食の状況などについて話し合いをおこなっている。保育士の給食に対する疑問点や改善点についてもしっかりと述べるようにし、よりよい給食を提供できるように関係を作っている。行事などに向けて、食育活動をとおしても実施ができるように食育担当者の中で話し合いながら進めている。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		自己評価結果
A⑰ A-2-(1)-①	子どもの生活を充実させるために、家庭と連携を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎日連絡帳を通して園での生活の状況についてお知らせをしている。また、保護者の方にも無理のない程度に記入をお願いしている。また、送迎の際に可能な限り、直接お話をするように心掛けている。保育参観や行事の際にも家庭での情報を伺ったり、必要に応じて個人面談を実施している。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		自己評価結果
A⑱ A-2-(2)-①	保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c
A⑲ A-2-(2)-②	家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>保育者として必要な関係機関についての情報収集や連携などは密に取るように心がけている。また、保護者の様子や子どもの様子についても保育士間で情報収集を行い、必要に応じて関係機関への連絡や保護者との話し合いを行っている。</p>		

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		自己評価結果
A⑳ A-3-(1)-①	保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	Ⓐ・b・c
<p>評価概要</p> <p>毎月のミーティング資料の中で自己評価を行い、日々の保育についての見直しを行っている。また、保育者間での連携を密に取り、他の保育士から学べる点については積極的に相互に学び、保育の質の向上に努めている。</p>		